

2020年度卒業時アンケートの分析について

I R委員会

教育の内容

○ 総合分析

教育の内容について、講義、実験実習、授業方法、教員との関係、職員の対応の5項目を1（悪い）～5（良い）点の5段階で評価した。学年全体で見ると5項目とも4点と5点の合計の平均が72.3%であり、前年度の65.2%を大幅に上回る良い結果となっている。また教員との関係では4点と5点の合計が昨年度69.9%であったのに対し本年度は75.8%と大幅な向上が認められている。本学の特徴の1つである学生と教員の距離の近さを裏付けする数字となっている。さらに職員の対応は4点と5点の合計が昨年度70.4%であったのに対し本年度は72.6%と向上が認められ、継続した学生への丁寧な対応を心がける職員の努力が表れた数字となっている。

○ 個別分析

- ・食物栄養学科：講義、実験・実習、授業方法の3項目における4点と5点の合計が昨年度は70.0%、75.5%、68.2%であったのに対し、本年度は講義73.6%、実験・実習78.2%、授業方法76.4%であった。昨年度に比べ、全項目で向上が認められている。
- ・製菓クリエイトコース：講義、実験・実習、授業方法の3項目における4点と5点の合計が昨年度は58.6%、75.9%、62.1%であったのに対し、本年度は講義63.6%、実験・実習86.4%、授業方法63.6%であった。昨年度に比べ、全項目で向上が認められている。
- ・ファッションデザインコース：講義、実験・実習、授業方法の3項目における4点と5点の合計が昨年度は33.3%、50.0%、33.3%であったのに対し、本年度は講義44.4%、実験・実習88.9%、授業方法77.8%であった。昨年度に比べ、全項目で向上が認められている。
- ・ブライダルデザインコース：講義、実験・実習、授業方法の3項目における4点と5点の合計が昨年度は58.8%、58.8%、64.7%であったのに対し、本年度は講義100.0%、実験・実習100.0%、授業方法91.7%であった。昨年度に比べ、全項目で大幅な向上が認められている。
- ・ビューティーデザインコース：講義、実験・実習、授業方法の3項目における4点と5点の合計が昨年度は25.0%、20.8%、16.7%であったのに対し、本年度は講義45.9%、実験・実習54.1%、授業方法43.2%であった。昨年度に比べ、全項目で向上が認められているが、全ての項目で全体平均72.3%を下回っている。

設備施設

○ 総合分析

設備施設について講義室、実験・実習室、図書館、コンピュータ室1、コンピュータ室2、視聴覚室、102講義室、ラウンジ、食堂、食堂（売店）、トイレの11項目について1（悪

い)～5(良い)点の5段階で評価を行った。結果は4点と5点の合計の平均が71.4%を超えており、昨年度の62.3%を大幅に上回る良い結果となっている。

○個別分析

- ・実験・実習室、図書館、コンピュータ室1、ラウンジ、トイレの5項目において4点と5点の合計がそれぞれ75.3%、75.3%、73.2%、72.1%、74.7%と平均を上回る結果となっている。
- ・講義室、コンピュータ室2、視聴覚室、102講義室、食堂、食堂(売店)の6項目においては、4点と5点の合計がそれぞれ69.5%、70.5%、68.4%、68.4%、71.1%、67.4%と平均を下回る結果となっている。
- ・ラウンジの項目について、昨年度は4点と5点の合計が64.0%であったのに対して本年度は72.1%と高い結果となっている。これはラウンジの改修工事が終了し利用できるようになった事が起因していると推察される。

学生生活

○総合分析

学生生活についてクラス(コース)のコミュニケーション、友達関係、行事、就職指導、2年間の学生生活の5項目について1(悪い)～5(良い)点の5段階で評価を行った。結果は4点と5点の合計の平均が68.2%と昨年度の70.4%を2.2ポイント下回る結果となっている。この結果は、新型コロナウイルス感染症対策による夕陽祭等の行事中止が起因していると推察される。また、学校にある設備・備品にあれば良いと思うものとして、購買部(コンビニ)74.2%、学内フリーWiFi43.7%、その他1.1%の順で希望があった。学内フリーWiFiについては、本年度より導入している。

○個別分析

- ・クラス(コース)のコミュニケーション、友達関係、就職指導の3項目において、4点と5点の合計がそれぞれ71.1%、74.2%、73.7%と平均を上回る結果が得られている。
- ・行事、2年間の学生生活の2項目において、4点と5点の合計が54.2%、66.8%と平均を下回る結果となっている。
- ・食物栄養学科:クラス(コース)のコミュニケーション、友達関係、行事、就職指導、2年間の学生生活の5項目における4点と5点の合計が昨年度は72.7%、83.6%、70.9%、79.1%、81.8%であったのに対し、本年度は75.5%、75.5%、56.4%、79.1%、69.1%であった。昨年度に比べ、友達関係、行事、2年間の学生生活の項目で低値が認められている。特に、行事の項目では14.5ポイントも低い値が示されている。
- ・製菓クリエイトコース:クラス(コース)のコミュニケーション、友達関係、行事、就職指導、2年間の学生生活の5項目における4点と5点の合計が昨年度は79.3%、86.2%、58.6%、62.1%、79.3%であったのに対し、本年度は77.3%、81.8%、40.9%、72.7%、72.7%であった。昨年度に比べ、クラス(コース)のコミュニケーション、友達関係、行事、2年間の学生生活の項目で低値が認められている。特に、行事の項目では17.7ポイントも低い値が示されている。

- ・ファッションデザインコース：クラス（コース）のコミュニケーション、友達関係、行事、就職指導、2年間の学生生活の5項目における4点と5点の合計が昨年度は66.7%、66.7%、50.0%、50.0%、83.3%であったのに対し、本年度は44.4%、66.7%、66.7%、77.8%、77.8%であった。昨年度に比べ、クラス（コース）のコミュニケーション、2年間の学生生活で低値が認められている。特に、クラス（コース）のコミュニケーションの項目では22.3ポイントも低い値が示されている。
- ・ブライダルデザインコース：クラス（コース）のコミュニケーション、友達関係、行事、就職指導、2年間の学生生活の5項目における4点と5点の合計が昨年度は64.7%、52.9%、47.1%、64.7%、64.7%であったのに対し、本年度は100.0%、83.3%、75.0%、66.7%、91.7%であった。昨年度に比べ、全ての項目において高い結果が得られている。特に、クラス（コース）のコミュニケーションの項目では35.3ポイントも高い値が示されている。
- ・ビューティーデザインコース：クラス（コース）のコミュニケーション、友達関係、行事、就職指導、2年間の学生生活の5項目における4点と5点の合計が昨年度は45.8%、41.7%、37.5%、41.7%、54.2%であったのに対し、本年度は56.8%、64.9%、45.9%、59.5%、45.9%であった。昨年度に比べ、全ての項目において高い結果が得られているが、全ての項目で全体平均68.2%を下回っている。

本学についての感想（自由記述）

無し

アンケート結果への全体的な所見

アンケートの回収率は、昨年度が97.4%であったのに対し、本年度は96.0%と昨年同様非常に良好であった。また、全体において概ね良好な評価となっている。今回の特徴として、ブライダルデザインコースが全体的に高い評価結果となっている一方、ビューティーデザインコースが全体平均を下回る結果となっている。さらに、学生生活におけるコロナウイルス感染症の影響が見受けられている。

また、昨年度同様に教員との関係および職員の対応の評価が向上している。これは、教員と職員が一丸となって丁寧に学生対応に当たった結果と言える。学生目線から見れば大学の対応の善し悪しは教員と職員をひっくるめたものとなる。引き続き学生と大学の距離が近いと評価されるよう、また学生の満足度をさらに上げるためにも、今後も教職員全員で努力し続けなければならない。